

2014年6月17日

日本国首相
安倍晋三 殿

すべての女子および男子は質の高い教育を受ける権利を持っているという大変重要な事柄についてのお手紙を本日さしあげております。200名以上の女子生徒が誘拐されるというナイジェリアで起きた出来事は、私にとって、また教育を否定された数千万人におよぶ世界の女の子にとってショックでした。ナイジェリアの彼女たちは私の姉妹同然です。彼女たちによって、すべての子どもが学校に通う権利を保障するという私の闘いについての確信は強まりました。

パキスタンの多くの女子が質の高い教育を受けることができるように日本が支援してくださっていることに対して感謝の気持ちでいっぱいです。しかしながら550万人もの学校に行くことができないパキスタンの子どもたちが彼らの権利である質の高い教育を受けることができるようになるためには、まだまだなすべきことがあります。

教育は貧困、無知、テロリズムと闘うための最強の武器です。しかしながら今日、世界の5700万人もの子どもは学校に通うことができていません。2億5000万人の子どもは小学校4年生になるまでに中途退学するか、基本的な読み書き、計算ができていません。私たちは彼らを見捨てているのです。この事態を改善することができるかとあなたも信じていらっしゃると思います。

2010年以降、教育援助額が減少していることにショックを受けています。これは全く考えられないことです。教育予算を増やし、すべての子どもが学校に通うことができるようにすべきです。女子が大切だと言うのであれば、女子の就学者数を数えなければなりません。そうすれば、本当に女子の教育が改善しているかどうかを判断できるでしょう。

私は、開発途上国をはじめとするすべての国や機関が自分の役割を果たしている「教育のためのグローバル・パートナーシップ(GPE)」の公式の支持者(advocate)に任命されていることを誇りに思います。日本のようにGPEへの支援を増やすことによって、すべての子どもが学ぶことができるようになると私は信じています。

6月26日にブルッセルでEUのホストによってGPEの増資会合が開かれ、各国首脳が集まります。66カ国の開発途上国の教育の財政を改善するための2018年までの4年間の拠出額をドナー国・機関および開発途上国の指導者が誓約します。2018年には私は大学生になっていると思いますが、もし私たちが今行動しなければ、学校に行ける最初の日が来るのを多くの女の子が待っているのではないかと危惧します。

会議にご参加いただく日本の代表団に対して最善を尽くすようお願いしてください。襲撃の後回復して国連で話す機会があるまで、私は首脳会合に参加したことはありませんでした。日本のような国はパキスタンやナイジェリア、アフガニスタンの女子を助けてくださる力を持っていると存じます。日本のGPE基金への貢献は、女子が学び、育つことを意味します。誓約額は単に紙に書かれた数字ではありません。それは私たちの未来です。

日本の教育援助に感謝します。そして数千万の子どもたちが学ぶことができ、彼らが自分たちの可能性を開花させることができるように、あなたがリーダーシップを発揮されることに対して感謝いたします。

マララ・ユサフザイ

教育のためのグローバル・パートナーシップ(GPE)支持者
マララ基金 共同設立者